

令和元年度 第1回 名張市社会教育委員会議 (会議録概要)

◇開催日時：令和元年10月3日(木) 午後3時～午後5時

◇開催場所：名張市教育センター 多目的ホール

◇出席委員：藤原 武委員、山田 貴志委員、斉藤 健委員、藤原 佐知子委員、耕野 一仁委員、福森 十一委員、小引 福夫委員、若山 東男委員、増岡 孝則委員、神野 稔委員、澤田 田鶴子委員、橋本 香里委員、豊岡 千代子委員、椿原 礼子委員

◇欠席委員：須曾野 仁志委員、板井 正斉委員

◇事務局等：教育長、辻教育委員、人権・男女共同参画室 山口室長、市民スポーツ室 山口室長、図書館 松本館長、文化生涯学習室 宮前室長、雪岡社会教育指導主事

◇傍聴席：なし

新委員2名 委嘱状交付

1. あいさつ 教育長

2. 議事 (進行：委員長)

(委員長) 事務局の各担当より説明を受けまして、その後、委員の方々からご質問等を受けたい。

(1) 社会教育に関する取り組みの状況について

(事務局) 各担当室より、社会教育に関する取り組み状況について、項目別に報告。

1. 生涯学習の総合的推進 (文化生涯学習室)
2. 人権教育と啓発の推進 (人権・男女共同参画推進室)
3. 青少年の健全育成 (文化生涯学習室)
4. 文化芸術活動の振興 (文化生涯学習室)
5. 文化財等の保存・活用 (文化生涯学習室)
6. 図書館機能の充実 (図書館)
7. 生涯スポーツの振興 (市民スポーツ室)
8. 市民センター活動の推進 (地域経営室)

(委員長) 令和元年度の、第1回の会議ということで、社会教育に関する取り組みの状況について報告をいただいた。今回、豊岡委員、椿原委員は初めてということで新たに組み込んでいただくということと、他の委員の方は昨年度からの継続ということで、全体を通してご質問いただき、また色々なご意見を伺いたい。

● 生涯スポーツの振興について

○ 日中スポーツ友好交流事業については、名張市と蘇州市が友好関係を結んでいるのか、それとも名張市の体育スポーツの振興を行っている体育協会やスポーツ少年団といった団体が、蘇州市の中の人との交友を結んでいるのか。「市」と「市」がやっているのか、それとも市の中にある団体同士が交友を深めているものを、「日中スポーツ友好交流事業」という位置付けで、その事業を推進するにあたって支援しているのか。

→ 名張市スポーツ少年団の方が実施したいというような形で、名張市スポーツ少年団と蘇州市のスポーツ団体との交流事業に対して、市が補助を行っています。

○ 「市長」対「市長」でこういう事業の契約を締結するのではなくて、個々のスポーツ団体が相互で民間団体同士が交友の調印をして、それを市がバックアップしているという解釈でよいか。

→ 当初の経緯をあまり把握していないため、調べさせていただきます。

○ 総合型地域スポーツクラブについて、今実際に29年度までに4つのスポーツクラブを設立してきたとのこと。それを支援する市が負担すると共に、実際に出来た時に、どんな運営をしていくのか、どういう管理形態で運営していけるのか、そこから自立して、それぞれのクラブでされているのか。実際やっぱり市が参画していかないとなかなか難しいものなのか、現実の運営の実態について聞かせていただきたい。

→ 総合型地域スポーツクラブ創設事業については、設立の準備のための事業として、市としては2年間、設立準備のための財源措置を付け、当然私どもの職員もそこに行き、設立のお手伝いをさせていただく、というのが趣旨です。設立後は、当然自立していただくのが本来ですが、そのまま放っておく訳ではなく、当然、色々な相談業務等はさせていただいている状況です。ただ、そこに対する財源等はございません。

○ 今まで4つ出来ている中で、行政側から見た時に、現実・現状はどうか。

→ 立ち上がった後も色々な経営の相談等もございまして、その中で、財政的支援もしてほしいという相談もあります。ただ、そこまで予算が付けられないということで、申し訳ない話ですが、そのままです。

○ 今4つで、5つ目を頑張っている訳だが、全市的に拡げていく時に、今の現実の運営に色々課題があつたりすると、拡がっていく時のネックとなったりするので、その辺のところをある程度、他のクラブを見て理想通り続けていけると。そういう環境を作っていないとなかなか進んでいかない気がするので、お聞きした。

→ はい、検討します。

○ 広報の8月号に4つの総合型スポーツクラブの記事（紹介・募集）が掲載されている経緯があるが、その中の3つは、どちらかというたとえばサッカーや陸上といった、特色といいますか、そういう1つの種目に偏った形のスポーツクラブ。ただ、「総合型地域スポーツクラブ」ということなので、1つの種目では行えないので、複

数の種目をどのクラブでもやっているという状況。その中で運営に関わっている人は、有償ボランティア以上のものがあるのではないかと思っている。ただ、ホームページで調べても、人件費がどの位かかっているか分からなかったのもので、一度調べていただけたらと思う。地域の方が関わりながら、地域の方を中心としたスポーツを楽しんでいただくということなので、これも継続していただくことが、名張市のためになる。市民スポーツ室の方としても、色々と相談に乗っていただき、継続に向けていただきたい。

○ ホッケー場が今年の8月に完成したが、この中に予算的に何も掲載されていない。30年度の実績だけを掲載したという理解でよいか。どのような管理をされるのか、使用方法等、その辺が分かれば教えてほしい。

→ ホッケー場については、完成が今年度ですので、今年度の最終事業になります。繰り越しておりますので、決算は今年度になります。

10月1日より一般利用を開始しており、使用の受付等については、百合が丘の地域づくりに委託しており、百合が丘市民センターにて受付けております。受付時間は午前9時～午後5時15分まで。管理については、これも百合が丘の地域づくりさんに委託をさせていただこうと思っております。日常管理、鍵の管理、中の清掃の管理、あと周りの危険等が無いかの確認等も含めての管理をお願いする予定です。私どもとしましては、実際のところ、利用に際してはそれぞれ市民センターにさせていただくが、中の使用の状況の、許可等については、市でさせていただいておりますので、随時、市民センターと連絡を取ってさせていただいている状況です。

○ 地域への開放について、その場合は無料になるのか。

→ 減免の話はありますが、今後地域づくりとの話し合いとなります。

○ 立派なホッケー場が出来、市長も「ホッケーのまち」とおっしゃっていたので、有効活用していただいて、再来年の国体もあるので、それに向けて頑張っていたいただきたい。

○ 日中スポーツ友好交流事業という表現では幅がない。「日中」だけのスポーツ交流ではなく、「国際スポーツ交流事業」としてはどうか。ネーミングの問題。

→ この事業につきましては、30年度で一旦終了ということになりますので、今後、事業を作る場合は、そのご意見も踏まえさせていただきます。

● 図書館機能の充実について

○ 乱歩関係の資料について出てきたと聞いたが、整備はできたのか。

→ 図書館の乱歩関係の書籍について、一時、整理が出来てないというご指摘等もございました。平成29年度から順次進めており、ある程度はリストが整理されてきている。元々膨大な量があり、またご寄贈頂いたものもあり、そういった整理も順次進めているところです。

○ 図書館で市民から寄贈された図書が数年前に倉庫眠っていると言われて、新聞に書かれた経緯もあったが、今は、寄贈されたものは、どのように対応されているのか。

→ 書籍等、市民から、また市外の方も含めて、乱歩関連ということで推理小説をご寄贈いただきました。主にそちらの方を平成29年の秋頃から順次整理をさせていただいて、一部は市民の方に、例えば畿央大学推理小説同好会（ミステリー同好会）の書籍については、開架に並べさせていただき、寄贈文庫という形で、皆さんに閲覧していただいています。また貴重な図書、資料もあり、なかなか閲覧にふせない貴重な図書については、図書館の方で時期をみて、実際に手に取って見ていただけないものについては、企画展示のような形で出来るだけ市民の皆様に見ていただけるように、今取り組みをさせていただいている。

現在は、推理小説同好会のOB会等から頂いた、江戸川乱歩が監修された『宝石』という月刊誌、昭和20年代から40年代にかけて発行されたもので、企画展示をさせていただいています。

○ 図書館運営事業について、図書館流通センターに今「窓口委託」をされている。これも、市の他の外部施設においては、「指定管理者制度」で運営している。そういった考え方があるのかなのか、進めていく方向性があるのかなのか、止まってしまっているのか、聞かせていただきたい。生涯学習施策の中で、図書館というのが、ある意味で地域の拠点の一つとして、重要な位置付けになってくるだろう。今もそうなっているかと思うが、更にその拡充がどうなっていくのか。一時期、「指定管理者制度」そのものに対する批判等もあったが、やはりそれは、どこに指定管理してもらうかにもよると思う。よりノウハウを持った人材を持ったところで、どのような図書館にしていくという、そういうスタンスで考えた時には、「指定管理者制度」というのは、上手く利用すればよい。非常に良い効果が得られると思うので、そういう進め方について、教えていただきたい。

→ ご質問の「指定管理」等について、一番当初に図書館流通センターに（窓口）委託した前後の経緯については、引き継いでいないが、「指定管理」も含めて幅広い意味で検討したと聞いております。全国的にも、「指定管理」であるべきか「直営」であるべきかという議論もなされた上で、名張市としては「一部委託」という形で、本の選書等については市に決定権限を残した上で、窓口部分のみを委託したという経緯があります。それから十数年経ち、実際のところ、当初は司書採用された職員もある程度おりましたが、現状で言いますと、司書採用された職員は図書館に居りません。たまたま司書の資格を持った職員が居るということです。当時一部委託を選択した状況とはかなり異なってきておりますので、そういうことも視野に入れた上で、今ご意見を頂いたように「指定管理」をもう一度考え直す必要はあるかと思えます。ただ、指定管理にいたしましたとしても、実際、一部委託と比べたら倍以上の経費が掛かります。その中で、今でいうと事業者の提案と費用、財政的なことも全て総合的に判断をした上で、必要な方向を決定して行きたいと考えております。今の段階ではこのような回答しか出来ませんが、全く指定管理は無いという前提ではなく、フラットから、次期更新時には検討をする必要があると考えます。

○ 私もその時に関わっていた人間ですので少し。当初、市長の方は「指定管理を進めて行くように」という方向性だったが、当時の図書館運営委員は、非常にそういうことに慎重な方々が居られたので、指定管理がなかなか進まなかった。とりあえず、図書館司書も含めて（市の）職員を置く中で、出来る部分だけ委託するというのが、一部民間委託（窓口）になった経過。ですので、もちろん今の経費だけで行ける訳ではないので、職員の配置も含めて丸々指定管理していけるかという課題として残っていると思うので、今はとりあえず進めていき、どういう方向性が良いのか、検討していただきたい。

○ 窓口業務だけ「一部委託」する場合と、「指定管理」の場合なら全体での管理しかない、ということか。一部窓口業務だけの「指定管理」というのは無いということか。

→ その辺りの判断は、「指定管理」という名称を使うか使わないか。実質的な指定管理と、今ご意見を頂いた選書の部分、どちらかという本のコントロールの部分等を含めた委託という形も有り得るかと思います。基本的に、一部委託は指定管理ではなく、大きい工事等を別にして全てが指定管理になるので、全て指定管理するか、一部を委託するか、選択肢としてはどちらかになると思います。ただ、ご意見を頂いたのは趣旨的な話だと思いますので、一部委託でも、この根幹的な部分、図書館にどのような本を買い揃えて、どういう意志を持った図書館にするかという部分を、市が持つかどうか。本を買うということは、図書館の本の構成や図書館の在り方を全て決めていくということです。その部分を委託するかしないかという点が、重要な判断点になってくると思います。それで趣旨的な指定管理、というふうに聞かせていただいております。

● 文化財等の保存・活用について

○ 数年前に「市史編さん」が総務部から教育委員会に移されて、人材を持って来てうまく活用していただく部署に持って行かれたと思うが、名目が「郷土史編さん事業」となっているが、「市史編さん」の進み具合を聞かせてほしい。詳細に書かれている中身を見ても、「市史」そのものの進展を図るのが見られないというか、その辺の活動が見えないように思う。「編さん事業」はどう進まれているのか。

→ 市史編さんは進展しておりません。しかし「民族部会」と「中世史部会」のみ部会の活動を続けており、細々ではありますが、資料収集を継続しております。書籍としての「市史」が完成したのは、もう随分前になりますが、「考古編」と「古代史編」の2冊で止まっております。

○ 「市史編さん」が継続されていくのか、それとも刊行される時期は、全く未定ということか。

→ 継続はしておりますが、実際に書籍を発行することになると、やはり経費がかかりまして、今、全ての事業がそうなのですが、まず財源を見つけなさい、ということが大前提になっています。なかなか今の中では出来ないという状況にあります。刊行時期については全くの未定です。

○ 財源が確保できればというスタンスだと、「市史編さん」の考え方として制度的にも補助金や交付金があるという制度ではないと思うので、正直言って、未来永劫編さん出来ないのか、と言う人もいます。先ほどの、ふるさと学習「なばり学」もそうだが、名張にそのものの基盤を、どのようにしっかりと後世に残していくかということに繋がる事業だと思うので、今、盛んに言われている公文書そうですが、地域基盤をしっかりと整えていく中で非常に重要な事業だと思うので、やはり他の施策・事業の財源確保とは違うスタンスが必要という意識を持たないと難しい。そのスタンスでいくとなかなか予算確保が難しい。その辺は意識を変えていかないと、郷土史編さんの事業は進まない。これは明らかに、地域の、他の編さん事業を進めていく地域との格差の問題が出てくる。いかに地域の人達が地域のことを勉強できる環境があるか、それが無いのと有るのとでは、えらい違いがあると思うので、担当室には予算確保をぜひ頑張ってもらい、意識転換をはかってもらいたい。

→ 私個人的な見解を申し上げますと、「市史編さん」と一言に言いましても、いわゆる歴史の編さん、皆さんがイメージされる古代から現代までの歴史の編さん、それ以上に、公文書の管理、こちらの方が重要になってくるかと思っております。

○ 歴史・文化だけではなくて、申し上げた公文書管理も含めて、考え方をしっかりとして書いておかないと、国の方でも公文書が無かった等の話が出てきているのは、しっかりと出来ていないということなので、総合的に考えて、市全体で取り組んでいただけたら。

→ 公文書管理になりますと、総務部総務室との連携とか、どの時点で市史に文書を移管するかといった話が出てくると思います。

○ 今、市史編さんの専門委員や専従委員はいるのか

→ 編さん委員会の委員さんと、編さん委員会が立ち上がっていたのですが、実は何名かお亡くなりになられて、その後の補充、交代がなされておられません。要するに、同じような時期に止まってしまっているということです。

○ 実態は完全に止まっているということだが、これもまた非常に大事な事だと思うので、やっていただきたい。

● 青少年の健全育成について

○ 「コミュニティー・スクール」の一環で、地域と学校との関係で、以前から「放課後子ども教室」（放課後子ども支援事業）があり、先ほど説明のあった6地区8小学校区で実施とのこと。来年は、桔梗が丘中学校（校区再編）になれば、小学校区が減ることか。

→ 小学校区は関係ありません。

○ 以前から、かなり前から数が変わっていない。要するに増加していないということだが、何か原因があるのか。

→ 元々名張市の場合、「放課後児童クラブ」いわゆる学童保育が先行していた。学童保育は、平日の放課後で有料であるが、この「放課後子ども教室」は無料である。また「放課後児童クラブ」が既にかっちりと出来上がっている中に、「放課後子ども教室」を同じようにやっていくのは難しく、「放課後子ども教室」は、年10回程度、土曜・日曜の活動しかない。なかなか「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」が連携出来ない。そういったことで立ち上がっていかない。今現在の状況は、1つの地区が、実施しようということで動いてくれています。できれば今年度中、もしかすると来年度になるかもしれませんが、1つの地区が開設に向けて今動いている状況です。

○ 開設費用やその後の毎年の運営費用について、国の費用も入っているのか。例えば、国が半分とか、県が1/4とか、市が1/4とか？

→ 国の補助も入っております。国が 1/3、県が 1/3 ですので、市が 1/3（の負担）となります。

○ 地域の子ども達のために、色々できることが考えられる。地域でまだ活動されていない所に、市の広報等でされるのか、地域や市民センターに出向いて説明をされるのか、PR をお願いしたい。

(2) 第 50 回東海北陸社会教育研究大会三重大会について

(事務局：文化生涯学習室長) 詳細説明。

- ・分科会は全員第一希望
- ・個人の負担額（情報交換会代と弁当代で該当の方）集金について
- ・三重大会の参加費は、市が負担

(3) その他

(事務局：文化生涯学習室長) 別添資料説明。

- ・「名張薪能」案内
- ・「壬申の乱の時代」→名張市郷土資料館での、今やっている企画展のチラシ
- ・「壬申の乱と万葉の時代の伊賀」→名張市と伊賀市と三重県（伊賀地域防災総合事務所、斎宮歴史博物館、三重県埋蔵文化財センター）が協働して展示

3. その他

(事務局：文化生涯学習室長) 12月7日（土）「教育フォーラム」の開催案内。

名張市社会教育委員名簿

(平成31年4月現在)

任期 平成30年6月10日～平成32年6月9日

区分		氏名	委嘱年月日		備考
学校教育 関係者		フジワラ タケン 藤原 武	平成30年4月1日		校長会代表（梅が丘小学校）
		ヤマダ タカシ 山田 貴志	平成31年4月1日		校長会代表（美旗小学校）
社会教育 関係者	◎	サイトウ ケン 斉藤 健	平成18年6月10日		体育団体代表（名張市体育協会）
		フジハラ サチコ 藤原 佐知子	平成30年6月10日		PTA代表（名張市PTA連合会）
		コウノ カズヒト 耕野 一仁	平成25年5月1日		文化団体代表（名張文化協会）
		フクモリ シュウイチ 福森 十一	平成30年6月10日		生涯学習推進協議会代表 （薦原市民センター長）
		コビキ フクオ 小引 福夫	平成27年5月29日		地域づくり組織代表 （つつじが丘・春日丘自治協議会会長）
学 識 経 験 者		スズノノ ヒロシ 須曾野 仁志	平成24年6月21日		三重大学教育学部教授
		イタイ マサナリ 板井 正斉	平成22年6月10日		皇學館大学教育開発センター副セン ター長准教授
		ワカヤマ ハルオ 若山 東男	平成24年6月10日		企業経営経験者 社会教育貢献者
	○	マスオカ タカノリ 増岡 孝則	平成24年6月10日		社会教育経験者
		カンノ ミル 神野 稔	平成28年6月10日		社会教育経験者
		トヨオカ チヨコ 豊岡 千代子	平成31年4月1日	新任	社会教育経験者
家庭教育 関係者		サワダ タスユキ 澤田 田鶴子	平成16年6月10日		青少年健全育成関係者
		ハシモト カオリ 橋本 香里	平成30年6月10日		家庭教育経験者
		ツバキハラレイコ 椿原 礼子	平成31年4月1日	新任	家庭教育経験者

◎＝委員長、○＝副委員長

社会教育に関する取り組みの状況

項目	小事業(事務事業名)	事業内容	詳細	30年度決算	令和元年度予算 (6月補正後)
1.生涯学習の総合的推進	生涯学習推進事業	・市民センター等を地域の拠点に、生涯学習活動を全市的な規模で推進 ・関係機関と連携を図りながら家庭教育の充実を推進	生涯学習連続講座「なばりカレッジ」の実施や、包括連携協定を結ぶ皇學館大学と共催で「ふるさと講座」を開催しています。関係機関との連携をし、市民センターで家庭教育講座も実施しています。	0	20
	社会教育総務一般経費	・教育基本法及び社会教育法の趣旨に沿った社会教育の推進 ・社会教育委員の審議機能強化、必要な研修機会と情報の提供 ・社会教育主事の養成及び資質向上 ・市民センター(指定管理者)並びに社会教育関係団体の支援、育成及び指導 ・ユネスコ事業の実施(委託)	社会教育委員会議では、指針に関する意見をいただき今後の生涯学習推進協議会等で反映していきます。他市との情報交換や交流のため鈴鹿市社会教育委員との交流会を実施しました。また、社会教育指導員や社会教育主事の助言を受け市民センターでの生涯学習の推進を図りました。	2,851	3,026
2.人権教育と啓発の推進	人権センター運営交付金	部落問題や国際化、少子高齢化などに起因する様々な人権・同和教育の解決のため、人材の育成、教育・啓発、相談、調査を行っている名張市人権センターに対する事務局員人件費等の運営経費。	自立と持続可能な名張市人権センターをめざして事務局及び組織の強化に努めた。常務理事を設置し事業推進の企画立案、情報発信を充実させた。また、部会制を導入し理事・評議員の事業参画意識の向上に努めている。 また、学校教育・社会教育における人権・同和教育の推進や地域における人権のまちづくりに関わる人材育成に取り組んだ。地域づくり組織から理事(副理事長)を選出し、人権センターの取組に地域づくりの視点を重点的に取り入れている。	1,740	1,740
	人権推進費	差別撤廃審議会委員の報酬、旅費及び人権擁護委員で組織する伊賀人権擁護委員協議会負担金、企業訪問の実施、啓発資料の作成・購入・配布、人権週間における各種啓発事業の実施。	市内の事業所、企業を対象とした啓発訪問の実施、啓発資料の作成・購入・配布、人権週間(12月4日～10日)を中心に街頭啓発、ふれ愛コンサート、人権作品展など各種啓発事業を実施し市民の人権意識高揚を図りました。	1,683	1,717
	人権週間事業	※人権推進費に統合			
	人権啓発事業	※人権推進費に統合			
	人権・同和教育推進協議会運営補助金	人権・同和教育の研究や推進のため、関係各団体等で、研究会、学習会や交流会等の諸活動を展開している名張市人権・同和教育推進協議会への運営補助。	部会活動を中心とした研究会等の事業実施により、社会教育・学校教育両分野における人権・同和教育の推進と、市民の人権意識の向上に寄与しました。地域づくり組織から、名同協本会の運営に関わる運営委員と社会教育部員及び差別事象研究部会員を選出いただき、「人権文化のまちづくり」を活動テーマの大きな柱の一つに位置付けている。	1,030	1,030
	教育集会所管理費	小中学生を対象とした学力保障の取組や差別に負けない仲間づくりのための解放学習会、成人を対象とした識字教室、地域住民を対象とした人権学習会、文化祭等の実施。	市民の人権意識の向上を図る拠点施設として、周辺地域を含む多くの市民に気軽に活用してもらえる施設を目指し学習会や文化祭等を開催及び施設管理の運営を行いました。なお、教育集会所を拠点として開催される主要な事業については、地元自治会や公民館、人権関連団体等の多様な団体と連携して取組を進めています。	1,685	1,270
	教育集会所運営費	※教育集会所管理費に統合			
	社会教育総務一般経費	※人権総務費に統合			
	人権政策総務費(うち、社会同和教育指導員2名分)	社会同和教育指導員の報酬。 社会教育(家庭教育、社会同和教育、青少年教育等を含む)に関する指導、学習相談、人権学習会講師等を行う。	社会同和教育指導員として、教育集会所を拠点に学習会等を実施し、地域でのフィールドワーク、市内小中学校での人権学習会講師を務め、社会教育の振興を図るための活動に取り組んだ。	4,856	4,848
	人権のまちづくり推進委託事業	人権尊重都市名張の実現に向けたさまざまな取り組みを、先駆性、機動性、独創性、柔軟性が期待できる実施主体に事業委託。 ～委託内容～ ・人材育成:人権学習指導者、地域人権リーダー、人権に関する相談員 ・人権教育・啓発:人権週間記念行事、市民文化講座 人権マイナリ整備充実、人権関連情報発信 ・相談:人権相談、学習相談 ・調査・研究:人権教育・啓発推進のための調査・研究 ・男女共同参画センター運営	ホームページ、フェイスブックを活用し情報発信に取り組んだ。人権週間ふれ愛コンサート第2部については、早期に出演者を確定することにより、参加者も年々増え、高い評価を得ることができた。人権啓発まちづくりリーダー養成講座では名張地区を対象として名張地区まちづくり推進協議会と協働で取り組み、隠街道市において、韓国、インドネシア、ペルー、タンザニアなどの家庭料理(ソウルフード)屋台の出店者と市民の方々の食を通じて交流を深めた。	3,230	3,230

項目	小事業(事務事業名)	事業内容	詳細	30年度決算	令和元年度予算 (6月補正後)
3. 青少年の健全育成	学校支援地域本部事業	教員が子どもと向き合える時間を確保し、子どもたちの学力の定着・向上を図るため、学校の求めに応じて、授業中の学習支援や放課後の学習指導等、必要な支援を各地域のボランティアが行うことができる体制を構築	地域住民が学校を支援する取組みである学校支援地域本部事業を全小中学校で実施し、学校・家庭・地域が一体となり教育活動を推進する体制が構築されてきています。地域コーディネーターの選定や支援内容の充実などの課題があります。地域人材の発掘、養成とともに、地域づくり組織、市民団体との協働により、学校の多様な支援ニーズに応え、地域ぐるみでの子どもの教育や学校の支援に取り組むことができました。	418	2,119
	放課後子ども支援事業	各小学校区単位(地域づくり単位)で、放課後子ども教室を開催	地域の参画を得て行う、放課後子ども教室では子どもの居場所づくりや地域住民との交流などを目的としています。教室を実施している各地域では多様な活動プログラムにより、子どもの居場所づくりと健全育成を図っており、平成30年度は6地区8小学校区での実施となりました。事業の実施主体は、地域づくり組織であり、活発に多様な内容の事業に取り組んでいます。全地域での教室立ち上げには至っていませんが、地域づくり組織への事業説明等を行いながら立ち上げに向けて協議を進めています。	1,032	1,458
	青少年健全育成事業	・安心安全な環境づくり【名張少年サポートふれあい隊事業、有害環境一掃大作戦、あふない標識設置事業、「子どもを守る家」事業】 ・健全育成体制の充実【青少年ボランティア人材育成事業、なばり子ども情報センター事業】	名張少年サポートふれあい隊の活動が年々活発に行われるようになり、平成30年度は延べ921人の皆様に参加いただきました。また、地域と協力して子どもの安心安全のための標識やタペストリーの設置等を行いました。子ども情報センターでは、体験活動等の情報発信などを行いました。青少年ボランティアであるジュニアリーダーの養成と活動機会の提供などを行い、青少年の社会参加や健全育成を図りました。	585	534
	青少年補導センター事業	元教職員の補導員を中心に、関係機関との連携と市民ボランティアの協力により、全市的に青少年の補導活動や安全対策、有害環境浄化活動、相談業務の充実に取り組む	・地域、学校、市民団体等と連携し、街頭補導、安全パトロール、有害環境浄化等、子どもの安心安全と青少年の非行防止に取り組まれました。 ・学期ごとに、青少年補導センターだよりを発行し、情報発信にも取り組んでいます。青少年の非行防止活動により、健全な環境づくりに寄与しています。市民活動団体等と連携し、名張少年サポートふれあい隊活動、有害環境一掃浄化活動等を実施しました。	388	524
	成人式事業経費	新成人を祝う成人式を実行委員会方式で開催	恩師や名張市出身の著名人のビデオレターの上映など、新成人自身での企画運営ができました。また、大人としての責任ある行動を促しつつ、円滑に式典を行うことができました。新成人で立ち上げた実行委員会の自主的な活動や交流を支援し、責任ある行動、社会参画の促進を図りました。地域、大学・高専・青少年活動団体(Kidsサポータークラブ等)に呼びかけ実行委員会の立ち上げに向けて取り組みます。	311	445
	青少年健全育成事業補助金	青少年育成市民会議を中心に、市民会議を構成する諸団体と連携して事業を推進するために、事業補助を行う	住民視点で行われる様々な活動に補助を行うことにより、地域の多様な人材を活用し、市民が子育てに取り組む活動への支援を行うことができました。家庭の教育力が低下する中、様々な子どもへの体験活動の提供や、安全パトロール等の活動は、地域の子育て力を高め、安心安全のまちづくりに寄与し、青少年の健全育成に大きく貢献しています。青少年育成市民会議を構成する32団体のほとんどは、民間団体、市民の自発的活動組織となっています。	228	228
4. 文化芸術活動の振興	文化振興費	市美術展覧会、市民文化祭の実施委託料経費、並びに庶務経費	市美術展覧会や市民文化祭開催にあたり、限られた予算の中で、より効果的な事業運営を図るため、民間助成の協力も依頼しながら、市民が身近なところで文化に親しむことができる機会を提供し、文化芸術活動の振興を図っています。	1,809	1,730
	ふるさと能文化振興事業	総合計画でもうたわれている「能楽のふるさとづくり」の実践のため、「観阿弥創座の地」を情報発信するイベントの開催や、子ども狂言の会への支援・協力を行っている。また、名張子ども狂言の会の発表に加え、伝統芸能に取り組む市内の子どもたちが活躍する団体にも呼びかけ、adsホールにおいて「名張子ども伝統芸能祭」を開催することにより、1年間の成果を発表する機会を提供。	能楽のふるさとづくりへの取り組みとして、観阿弥祭や名張新能を開催。「能楽のふるさと名張」の実践のため、子ども狂言の支援と連携するイベントを実施するなど、名張の特色ある文化を育む事業を展開。尚、実施にあたっては名張市観阿弥顕彰会や美旗まちづくり協議会と協働して事業を推進しています。	2,118	2,911
	青少年センター管理費	青少年センター(adsホール)の維持管理費。平成28年度から令和2年度までの5年間、指定管理者が管理運営する。	市内唯一の文化ホールとして、主催事業を継続して提供することが必要で、平成28年度からは指定管理者独自の発案で、市民ニーズに適切した事業推進に取り組んでいます。	29,630	29,590

項目	小事業(事務事業名)	事業内容	詳細	30年度決算	令和元年度予算 (6月補正後)
5.文化財等の保存・活用	郷土史編さん事業	「名張市史」の編さん・刊行及び歴史資料の収集・整理・保存を行う。	出前トーク、講演会等を行うことにより、郷土の歴史及び本事業の周知を図り、市民の関心を高めることができました。各地域活動において、地元の文化や歴史的遺産の再評価がされる中で、市史や収集資料が活用されています。	544	801
	文化施設管理費	・文化財施設等の維持管理経費 【国史跡夏見廃寺及び夏見廃寺展示館、県史跡名張藤堂家邸、名張市郷土資料館、観阿弥ふるさと公園、乱歩生誕地広場 等】	文化財施設等の適切な維持管理を行うとともに、利用者の利便等の向上に努めました。H30年度もH29年度に引き続き、名張藤堂家邸の修繕に重点に置いて、適正な施設管理を行いました。	8,149	7,957
	文化財保護費	市域に存在し、地域を理解するうえで特に重要な文化財の保護業務で、文化財調査会の開催、市指定文化財の修復補助、文化財指定看板の設置、史跡の草刈り等を行う。	文化財の保護や史跡の景観保全の適切な管理に努めました。また、登録文化財の指定に努めるとともに、自然環境の保全など、貴重な歴史、文化資源を後世に継承するための取組を進めました。	1,906	1,882
	郷土資料館整備事業 (H26～29)				
	オオサンショウウオ緊急調査事業	国の特別天然記念物であるオオサンショウウオは全国的に日本固有種が激減し、中国産との交雑が急速に進んでいる状況になっている。これを受け市内の滝川流域での生息状況についても確認をするため、緊急でDNA個別識別調査を行う。	特別天然記念物の日本在来種であるオオサンショウウオは、近年、外来種であるチュウゴクオオサンショウウオとの競合及び交配により、個体数が激減しています。その交雑種の除去については自然界から隔離する方法を取り、現在、旧錦生小学校のプールにて約170匹、館内では幼生を約40匹飼育しています。これらの交雑種は、自由に見学していただけるよう公開しており、エサやり体験会も開催しました。また、小学校の授業や地域イベント等への出張にも積極的に取り組みました。	2,860	2,831
郷土資料館木質化事業	工事は、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、三重県産の木材を使用した、温かみのある展示室に整備する。地元との調整を適宜行い、円滑に開設ができるよう努める。	郷土資料館1階の旧保健室を三重県産の木材を使用し、名張市出身の著名人を顕彰する展示室に整備します。主な工事内容は内装の改修、展示用ケース等の制作です。	4,507	0	
6.図書館機能の充実	図書館管理費	施設及び設備を適切に維持管理していくことにより、快適に利用できる環境づくりを進めるとともに、メンテナンスにかかる経費の節減に努めます。	図書館の施設及び設備の効率的な維持管理に努めています。また、図書館情報システムの更新に向け取組を進めています。	17,017	19,710
	図書館運営費	市民の学習機会を保障するとともに、文化の発展に寄与します。	資料を収集し、市民の読書ニーズに応えると共に、各種催し物を企画、実施して図書(読書)へのきっかけ作りを行っています。	48,221	48,510
	なばり本の帯コンクール事業	本の帯作りを通して、小中学生の読書活動の推進に寄与します。	市内小中学生を対象に「本の帯」を募集、子どもたちの読書振興に寄与しています。	25	25
	図書館開架室吊天井等改修事業	市建築耐震改修促進計画に基づき、非構造物脱落防止工事を行うことで、利用者の安全を確保するとともに、避難所としての整備を行う。	図書館の吊天井工事について、平成31年度設計委託、令和2年度に防止対策工事を実施する。	0	3,380

項目	小事業(事務事業名)	事業内容	詳細	30年度決算	令和元年度予算 (6月補正後)
7.生涯スポーツの振興	勤労者福祉会館費	・名張市勤労者福祉会館の施設管理にかかる費用 ・指定管理者制度による指定管理料	平成30年度利用実績は、件数688件(前年度比3.8%減)、利用者数17,156人(同11.0%減)でした。 建物は築後39年を経過し、施設の老朽化への対応や、設備面での整備充実が求められています。若者の就労支援相談会の開催など、就労支援の取組等が当施設を活用して進められています。就労支援、就労研修を実践するための活動拠点として、関係団体と連携した機能充実が必要です。	333	867
	武道交流館いきいき管理費	・名張市武道交流館いきいきの施設維持管理にかかる費用 ・指定管理制度による指定管理料。	平成30年度利用実績は利用件数6,219件、利用者数119,506人と、件数で8.6%の増加、人数はほぼ横ばいという結果でした。一方で、築後13年が経過し、施設及び設備の老朽化も見られるようになり、計画的な施設・設備の整備が必要となっています。武道館・交流館合わせて年間10万人を超える利用者があり、生涯スポーツの活動拠点として貢献できました。武道館運営協議会を関係団体で構成し、委員からの意見を参考にしして運営しています。	12,901	12,860
	保健体育総務一般経費	・スポーツ施策推進にかかる事務管理経費 ・スポーツ推進審議会委員(10名)、スポーツ推進委員(25名)の報酬ならびに旅費等 ・各種研修会負担金、事務消耗品、学校開放にかかる事業費等	激励金については、平成30年度において、全国高校総体(インターハイ)が東海開催であったことから、80件(前年度51件)と前年度に比べると大幅に増加しており、競技スポーツの盛り上がりが見られました。また、各地域のスポーツ普及に貢献いただいています。スポーツ推進委員は、ニュースポーツ等の研修・技術の習得・普及を図り、市民の生涯スポーツの契機・機会づくりを図ることが出来ました。さらには、学校体育施設開放事業においては、地域との繋がりを強化するため、各学校体育施設運営協議会に参画いただき、地域の意見を反映はもとより、同事業を通してスポーツ活動の振興が図ることが出来ました。この効果のひとつとして、同事業における、年間利用者数が約14万人と増加につながっていると考えます。	4,832	3,486
	スポーツ活動振興費	体育健康フェスタ、ひなち湖紅葉マラソン大会、青蓮寺湖駅伝競走大会のイベント業務運営を委託するとともに、スポーツ振興に関する各団体の特性を生かした業務委託を実施します。	平成29年度まで体育の日を中心に開催してきた、体育健康フェスティバルについて、あり方も含めて見直した中で、平成30年度においては、スポーツ大賞等表彰式部分を、より多くの集客が見込める[とれたて！なばり2018]へ参画することとし、体育の日には、[体育の日！スポーツ体験会2018]をHOS名張アリーナ(市総合体育館)を中心に開催し、ホッケー協会をはじめ8つの協会の協力のもと、延べ554名のスポーツ体験者が来場した。	9,275	8,332
	日中スポーツ友好交流事業	名張市と中国蘇州市とのスポーツ交流を実施します。事業主体として、名張市スポーツ少年団が招待・派遣を隔年ごとに実施します。平成30年度は招聘を行います。	平成20年度より社会情勢により中断していた交流事業(派遣)を、平成24年度より再開できました。団体相互間で情報共有を行い、平成26年度には空手道スポーツ少年団(団員8名)を派遣に続き、平成28年度には受入及び派遣(名張市スポーツ少年団本部独自事業)事業として、蘇州市と交流しました。平成29年度においては、蘇州市の情勢の変化により、当初予定していた受入事業から派遣事業へ変更し交流を行いました。そういった中で、平成30年度においては、中国蘇州市より10名を受け入れ、名張市スポーツ少年団と蘇州市との交流が、30周年を迎えることを記念し、名張市スポーツ少年団を中心として「日中スポーツ友好交流事業記念式典」等を盛大に開催し、青少年の国際的視野を広げ、スポーツを通じて相互理解を進めることが出来ました。	300	0
	体育施設管理費	名張市体育施設指定管理料、美旗多目的広場等の管理業務委託料、体育施設の高額営繕費用、学校開放事業にかかる施設の修繕費用等。	平成30年度実績は、利用件数は11,743件(前年度比7.2%減)と前年度より減少しましたが、利用者数161,377人(同9.8%減)となり、前年度より増加しています。 施設の老朽化に伴う名張中央公園内の体育施設の改修を実施したほか、総合体育館の漏水対応などの突発的な修繕対応を実施しました。指定管理者制度による施設運営により、前年度を上回る施設利用がありました。また、老朽化が進む施設については、指定管理者と情報共有を行い、連携して現状把握・対策計画・施工実施を行える体制がとれました。体育施設の維持管理に関して、各競技団体の奉仕活動等で自ら使用する施設の維持保守にご協力いただいています。	38,359	41,527

	小事業(事務事業名)	事業内容	詳細	30年度決算	令和元年度予算 (6月補正後)
7.生涯スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブ創設事業	総合型地域スポーツクラブの創設に向け、必要な支援を行います。支援内容(諸謝金、旅費、賃借料、印刷製本費等)	生涯スポーツ推進のため、身近でスポーツ活動を行える機会を提供できる体制を構築するため、地域単位で組織を創設することを目的として取組を進め、平成29年度までに、4つの総合型地域スポーツクラブを設立してきました。そういった中で、平成30年度においては、美旗地域を中心に、みはた総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会が、スポーツ振興くじ(toto)助成を受け、約2年の準備期間の1年目としての活動を開始しました。具体的には、地元の小学校区のみならず、同中学校区の小学生を対象とした卓球教室・体操教室を美旗小学校において展開し、市民の一番身近な、地域での活動場所を提供することにより、スポーツ参加の契機づくり、スポーツの日常化に取り組むことが出来ました。	1,200	1,200
	市民陸上競技場改修事業	平成28年度において、市民陸上競技場内のトラックを全天候型に、フィールドを人工芝に改修し、平成29年度においては、スタンド下部分を改修し、ミーティングルーム、男子女子の各更衣室及び放送室を整備しました。平成30年度においては、夜間照明設備の改修とあわせて、スタンドベンチを三重県産の木材を活用し整備していきます。	平成33年開催の三重とこわか国体の競技会場としての整備等に対応するため、平成28年度において、メイハンフィールド(市民陸上競技場)内のトラックを全天候型に、フィールドを人工芝に改修しました。平成29年度においては、スタンド下部分を改修し、ミーティングルーム、男子女子の各更衣室及び放送室を整備してきました。さらには、老朽化及び漏電等により、不点灯であった夜間照明の修繕等を行い、夜間利用者数の利便性の回復のみならず、更なる利用者増数に寄与することが出来ました。さらには、三重県産の木材を活用し、メイハンフィールドメインスタンドベンチをリニューアルし、利用者のみならず、来場者(観客)の快適性向上に寄与することが出来ました。	41,975	0
8.市民センター活動の推進	市民センター費	指定管理による市民センターの管理・運営 地域づくり組織活動等の連携支援 特色ある市民センターの展開 学校及び各種団体等と連携した活動の推進	指定管理者制度による管理・運営を行うことにより、地域づくり活動を支える拠点施設として、生涯学習活動の更なる推進、質の高いサービスの提供と管理運営費の縮減等、積極的な事業展開を図りました。 また、多様化する住民ニーズに対するサービスの向上や経費抑制、また、主催事業の企画・実施による施設の有効活用や地域の活性化を促進するなど、利用者の満足度の向上を図りました。	100,676	97,468
	市民センター整備事業	市民センター施設の改修整備事業	美旗市民センター高圧受変電設備改修事業、比奈知市民センター農業集落排水接続工事、つつじが丘市民センター漏水外改修工事を実施しました。	17,361	19,366